

平成19年度社会実験 申請書

平成 年 月 日作成

実験名称 (25 文字以内程度)	
実験の種類	<p>1. 沿道を含めた空間の一体的な整備・管理を行うことによって、より高い道路の機能を発揮させるための実験</p> <p>2. 道路利用者のニーズにより的確に応えるため、道路の機能の特化とそれに合わせた整備・管理を行うための実験</p> <p>3. 地域における様々な課題を解決するため、道路として積極的に貢献していくための実験</p> <p>※ 該当する番号に○を付ける</p>
実験参画 組織・団体 参画組織・団体の種類(該当する番号にすべてに○)： 1. 地方自治体等 (含む一部事務組合、広域連合) 2. NPO 法人等の地域団体 3. まちづくり協議会等の公的な任意団体 4. その他 ()	<p>※ 実験参画組織・団体、その代表者名を記載ください。 (※ この斜体の注意書きは、申請書には書き込む必要はありません。以下同様。)</p>
地方自治体以外の場合、団体の概要を記述	<p>※ 団体の活動の目的、活動履歴を含めた概要を記述し、関連資料を参考資料として添付してください。 また、申請者が NPO 法人等の団体である場合は認可等の写しがあれば添付してください。</p>
連絡先 複数の団体による組織の場合、代表かつ連絡先となる組織	組織名 (団体名)：
	担当部門 (部署)：
	所在地 (都道府県名も記載)： 〒
	代表者名： (連絡先担当者名)
	TEL：
	FAX：
	E-mail：
ホームページアドレス： ※ 広報活動を想定するホームページアドレスを記載	

1. 実験概要図（A4版1枚にまとめる）

- ※ 実験の実施場所等を示す位置図（地域の周辺状況がわかるもの）に実験概要を記述
- ※ ポンチ絵や平面図等を用いて実験の内容がこの一枚で説明できるよう作成
- ※ 実験の全体像が概観できるようにし、実験実施時期、実験の規模（対象施策に応じて、箇所、台数、人数等）も明示
- ※ 現況写真を必要に応じ図中等に挿入

2. 地域の現状と課題

※ 実験実施の前提、背景となっている地域の現状や問題点を記述

〔記載イメージ〕

- 自動車への依存度の高い交通利用特性に加え、〇〇による地理的条件により、〇〇幹線道路で交通渋滞が慢性化、中心市街地である〇〇地区にも迂回通過交通が多く、歩行者の安全性が低下。

3. 実験の目的・目標

※ 実験の概要及び目的・目標を記述（箇条書きでわかりやすく記載のこと）

4. 実験実施地域・期間等

(1) 実験実施地域： _____

(2) 実験開始予定時期： _____ 年 _____ 月頃

(3) 実験期間： 約 _____ 日間（または約 _____ ヶ月間）

5. 実験項目および内容

※ 公募要領の実験メニューに沿ったもので、想定している実験実証項目を記載するとともに、実験の内容や対象箇所、特徴的な事項を実験項目ごとに具体的に記述（箇条書きでわかりやすく記載のこと）

[記載イメージ]

- トランジットモールの実施
(交通量・車両速度・来街者数の変化や、来街者・商店主等への満足度調査等を検証)
- 自転車利用促進活動、自転車走行レーンの設置
(交通量・来街者数の変化や、来街者・商店主等への満足度調査等を検証)
- 路上荷捌きスペースの設置
(交通量・車両速度の変化や、来街者・商店主等への満足度調査、商業活動等への影響等を検証) 等

※ また、実験で検証する課題や評価する内容を具体的に記述してください。

6. 本格実施に向けた方針

- ※ 本格実施の予定（時期）、本格実施に移行する実験結果の目標値、本格実施時の運営収支、費用負担の考え方を記述
- ※ 平成19年度の採択では本格実施の可能性を重視する予定

7. 実施体制

- ※ 複数の機関が社会実験に参画する場合は、事務局及び各機関の役割分担、相互の連携体制を記述（フロー図等の場合でも具体的な内容を記述）。
- ※ 協議会の設置状況・予定について明記。

8. 調整が必要な機関名と調整状況

- ※ 都道府県公安委員会や行政機関、地域の団体等実験を実施するに当たり調整が必要な機関および調整状況、調整の目的を記載
（記載イメージ）
 - ・〇〇県（道路管理者）：△△課と調整を行っているところ（調整に〇ヶ月程度必要）
 - ・〇〇県警：概ね調整済
 - ・〇〇商店会：未調整（調整に〇ヶ月程度必要）
 - ・・・・・・・・・・・・・・・・ 等
- ※ 実験の実施までに、地元住民、関係行政機関との十分な調整が必要です。特に、実験の実施に際して交通規制や道路の使用許可を要する場合については、所轄の警察とあらかじめ十分な調整をしてください。

9. 実験に係る予算計画				
(1) 実験関連総費用 詳細の費目については、次ページの様式に基づき記載。				
実験関連総費用 (A+B+C+D+E) 詳細内訳は次ページ表記載		千円	国土交通省が支援する費用 (実験関連総費用－応募者予算総額)	
千円		千円		
実験実施計画 の策定 (A)	実験実施の 諸準備 (B)	実験実施の 運営 (C)	各種調査 (D)	効果分析・ 施策評価 (E)
千円	千円	千円	千円	千円
(2) 応募者予算と内訳 上記の見込まれる費用のうち、 <u>応募者等が単独で確保する予定の【応募者予算総額】</u> 及び、応募者が複数の団体・組織により構成される場合には、 <u>構成団体・組織別に負担される費用の内訳及び、その負担額の内容について以下に記載ください。</u> なお、 <u>構成団体・組織のうち実験に伴い金銭的な負担とは別に物的、人的負担を予定されている場合には、それについてもご記載ください。</u>				
【応募者予算総額】 総費用のうち、応募者等が単独で確保する予定の予算額 注) 下記内訳の総計		千円		
団体・組織名	負担の種類 (該当番号に○)	負担額	負担の内容	
	1. 費用負担あり 2. 物的・人的負担のみ 3. 両方負担	千円		
	1. 費用負担あり 2. 物的・人的負担のみ 3. 両方負担	千円		
	1. 一部費用のみ負担 2. 物的・人的負担のみ 3. 両方負担	千円		
	1. 一部費用のみ負担 2. 物的・人的負担のみ 3. 両方負担	千円		
	1. 一部費用のみ負担 2. 物的・人的負担のみ 3. 両方負担	千円		
	1. 一部費用のみ負担 2. 物的・人的負担のみ 3. 両方負担	千円		

○欄が不足する場合には、必要に応じて追加してください。

○原則として、国土交通省が支援する費用が、公募要領に記載の標準的な費用を超えない範囲にしてください。

(3) 実験関連費目の内訳

(各費目欄については必要に応じて追加・削減し記載するか、本様式に準じ別紙に記載する。)

費目名：費目別単価×数量（または日数、人日など）＝費目計（千円）

項目	費目	単価 (千円)	数量	数量 単位	費目計 (千円)	備考
実験実施計画 の策定 (A)						
<小 計>						
実験実施の 諸準備 (B)						
<小 計>						
実験実施の 運営 (C)						
<小 計>						
各種調査 (D)						
<小 計>						
効果分析・ 施策評価 (E)						
<小 計>						
<総 計>						